

燃やすごみ 20%減量のお願い

昨年に発生した福増クリーンセンター第二工場の火災の影響により、現在、第一工場だけでごみの焼却を続けています。早期復旧に向けて取り組んでいるところですが、9月頃までかかると見込まれており、現状のままでは、燃やすごみを処理しきれなくなります。

処理しきれない燃やすごみは、近隣自治体等の他の処理施設へ処理をお願いしており、多大な経費が発生してしまいます。

今までも御協力いただいておりますが、今一度「資源物」の分別により、「燃やすごみ」の減量に御協力をお願いいたします。

また、生ごみの80%は水分であることから、生ごみを捨てる前に、ギュッとひと絞りをして水切りをしていただくなど、より一層のごみ減量の取り組みをお願いいたします。

◆リサイクル (Recycle) の取り組み

リサイクルとは、再び資源として利用する、という意味です。燃やすごみに混ぜればそのまま処分されますが、資源物に分別すれば、「資源」として再び有効活用されてごみの減量にもつながります。

①ごみの正しい分別の推進

新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック、布類、飲食用のびん・かん、ペットボトルは分別し、資源物の収集日（週1回）に出して下さい。

②再生して製造された製品の利用

【問合せ先】

市原市役所環境部クリーン推進課

☎0436-23-9053

1. 資源物を分けよう

市の資源物収集日（週1回）や地域の集団回収の日に、資源を分別して出しましょう。



市の回収品目

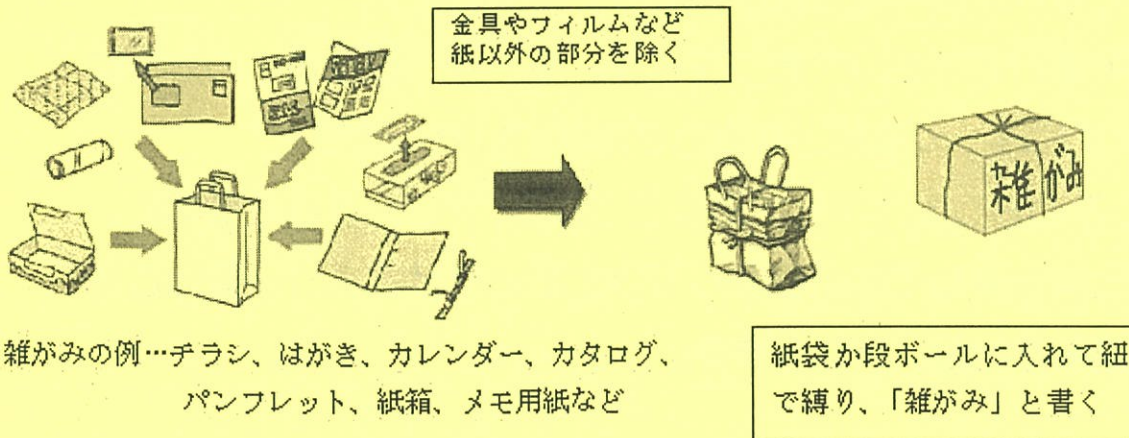
- 紙類(新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑がみ)
- 布類(まだ着られる洋服)
- びん、缶
- ペットボトル

雑がみってなに？

雑がみとは、

新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外で、リサイクルできる紙資源のことです。(例：はがき、カレンダー、紙箱、カタログなど)

燃やすごみの中には、分ければ貴重な資源となる雑がみがまだまだ混ざっています。雑がみを分別すると、ごみ箱の中がすっきり！今日から早速分別してみましょう。



2. 生ごみを減らそう

食材を使い切る 料理は食べ切る	捨てる前に、水分を切る	生ごみの堆肥化に取り組む
<p>必要な分だけ買って作って、</p> <p>残さず食べればごみ減量！</p>	<p>生ごみの約80%は水分です。</p> <p>捨てる前に、ぎゅっとひと絞り</p>	<p>市が生ごみ肥料化容器購入費の補助を行っています。できた肥料は家庭菜園などに大活躍！</p>